

明石市立江井島中学校
第3学年 進路・学年通信
NO. 147
平成31年2月28日(木)

卒業まで秒読み段階へ・・・

高校受験(検)前半戦を終えて!! [PART. 1]

先日、公立推薦入試の可否発表があり、高校受験の(検)の前半戦が終わりました。私立高校では、受験者全員の合格を達成することができましたが、公立推薦入試では、40名受験して合格者は26名でした。合格しても不合格であっても「江井島中学校の受験(検)」はまだ終わっていません。江井島中学校40回生全員でこの試練を乗り越えていきましょう。

私立・公立推薦等の受験(検)を経験して感じたことを作文で紹介していきます。卒業にあたって、また、これからの受験(検)に向けての準備に役立てて下さい。



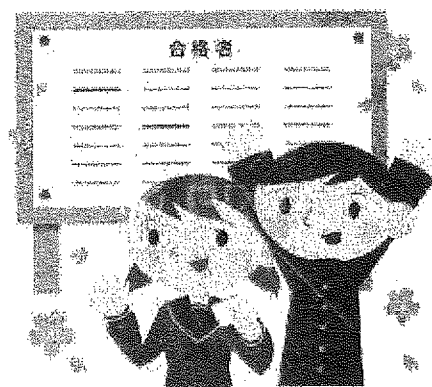
「本当にキツイのはこれから、準備をしっかりしよう!」

[1組]

入試を終えて、当日はとにかく緊張しました。でも当日までに勉強していればしているほど、それが自信になると思いました。私は当日の試験で英語のリスニングが本当に難しくて、プチパニックを起こしたけれど、「みんな分からへん。」と思うことが一番落ち着くことに効果的でした。

合格発表の時は、今まで生きていた中で一番緊張しました。今まで合格だった時も不合格だった時もイメトレしていたけれど、いざ発表になると疲れるほど緊張しました。

入試が終わって安心はしていますが、本当にキツイのは、入ってからだと思うので、出された大量の宿題も余裕を持って取り組みたいと思います。今より厳しい環境におかれて、厳しい戦いをしていけないといけなくなるので、まずは、高校の勉強やリズムについていけるように気持ちを改めたいと思います。



「応援はとても強い心の支えに!」

[2組]

僕は受験を終えてたくさんの人に応援されているなと感じました。親は受験までの間、体調管理をサポートしてくれたり、影ながら応援してくれてとても感謝しています。先生方は面接練習や小論文のチェックなどしていただき感謝しています。友達は面接練習に付き合ってくれたり、

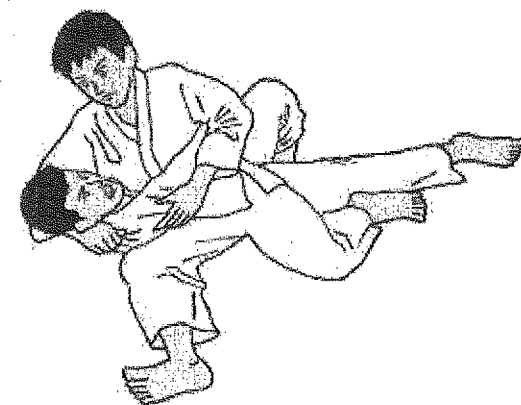
ものすごく応援してくれて、心の支えになったのでとても感謝しています。応援は、とても強い心の支えになるし、応援してくれた人のために頑張ろうと思えました。受験は人生の中で一番緊張したと思います。人生で初めて小論文を書いたり、面接をして、まったく上手くできなくて、合格までずっと緊張していました。受験はとても良い経験になるし、将来、就職する時にも役に立つと思います。応援は力になるのでたくさんの人を応援していきたいと思います。

「この経験を生かして、これからの試練を乗り越えていこう!」

[3組]

僕は、スポーツ推薦入試を受け、印象にことがあります。第一印象は、受験にきている人たちの目を見ると、ほとんどの人達が闘志むき出しでした。受験会場に入った時も気合が入っている雰囲気でした。この時僕も「負けていけない。」と気合が入りました。

テストに関してですが、過去問を何か月も前から何度も解きなおしていたので、自分が思っていた以上に解けました。面接は僕自身とても緊張しました。でも学校で練習した時のように、声をはきはきと出し、姿勢を良くして試験官の目をしっかり見ることを意識しました。僕は筆記試験と面接試験を通して、始めは何も分からなくて、とても不安でした。でも、どちらの試験も先生方や両親のサポートのおかげでここまで来れました。まだ先の話ですが、大学入試や就職試験などが待っていると思います。だからこの経験を生かして、これからの試験を乗り越えていこうと思います。



「必要以上の努力が少し先の自分の救いになる!」

[4組]

私は受験を通して「必要以上の努力が少し先の自分の救いになる。」ということを学びました。今まで不安になる必要がないくらい練習(勉強)を重ねてきたつもりでしたが、合格発表までの数日間は、不安でいっぱいでした。「あの時、もう少し頑張っていれば、もう少しこうしていれば・・・」という後悔が止みませんでした。合否は関係なく、その不安をなくすためにも、もっともっと頑張っていればよかったなと思っています。

高校からの課題もあり、受験を終えた今も、勉強のモチベーションは下げられない状態です。「受験は団体戦」という言葉があるように、まだ団体としての受験は続いています。みんなが自信を持って受験に挑めるように、みんなにも私と同じような達成感を得てもらえるように、まだまだ頑張っていきたいです。

